



杉江 さやか ピアノリサイタル

2026年5月6日(水)(祝)

13:30開場 14:00開演

ザコンサートホール

名古屋 伏見 電気文化会館

全自由席 一般：3,000円

大学生：2,000円 高校生以下：無料

Program

ラモーン

優しい嘆き	3連音
ひとつ目の怪人	未開人
ファンファリネッテ	エンハーモニック
かちほこった女	エジプトの女

ヴァインベルク

ピアノソナタ 第4番 口短調 Op. 56

ショパン

練習曲集 Op. 25	第7番 嬰ハ短調
第1番 変イ長調	第8番 変ニ長調
《エオリアン・ソナタ》	第9番 変ト長調
第2番 ヘ短調	《蝶々》
第3番 ヘ長調	第10番 口短調
第4番 イ短調	第11番 イ短調
第5番 ホ短調	《木枯らし》
第6番 嬰ト短調	第12番 ハ短調
	《大洋》



主催

アンバランス音楽企画

後援

愛知県立芸術大学音楽学部同窓会
名古屋市教育委員会
名古屋市

チケットのご予約

アンバランス音楽企画

✉ unbalancekikaku@yahoo.co.jp

芸文プレイガイド

☎ 052-972-0430

<https://teket.jp> (QR→)



お問い合わせ

アンバランス音楽企画

お問い合わせ (QR→)

未就学児の入場はご遠慮ください。
本公演は、お花・贈り物はすべて
辞退させていただきます。



18年ぶりのリサイタル、満を持して。

2006年、ショパンのマズルカ、ラフマニノフの練習曲、プロコフィエフの戦争ソナタをプログラムとして初のリサイタルを開催。2008年のリサイタルでは、バッハ=ブゾーニ作品、メシアン作品、ベートーヴェンのワルトシュタイン・ソナタ、そして、ショパンの練習曲集作品10全12曲を演奏。その後、母校の博士後期課程入学・退学、愛器プレイエルピアノとの出会い、結婚と三度の出産など公私ともに多きな節目を迎え、18年近くの年月が経ちました。その間、大学時代からの仲間であるアンバランスのメンバーたちと支え合い、研鑽を重ねる中、今回のリサイタル開催の運びとなりました。プログラムのコンセプトは「日常を尊ぶ、うた」。コロナ禍で見出したラモールの不朽のメロディー、“嵐の中のナイチンゲール”と呼ばれるヴァインベルクの反戦のメッセージ。そして、ピアノを志す私達が日常的に練習するショパンの「うたう手のための」練習曲。今回のリサイタルで演奏する作品25は、18年前に演奏した作品10と結びついて一つの円を描き、全24曲の演奏を完遂します。



杉江さやか プロフィール

名古屋市立菊里高校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコース卒業、桑原賞受賞。

在学中、研鑽を目的としたコンサートを開催する同級生によるグループ、アンバランスのメンバーとなる。

4年生の時、客員教授として就任したヴァディム・サハロフ氏のオーディションを経て師事。

2006年、同大学院鍵盤楽器領域修了、初のリサイタルを開催。2008～2010年、ニース夏期国際音楽アカデミーに参加し、オクサーナ・ヤブロンスカヤ、ヴィクトリア・ポストニコワ、ミシェル・ベロフ、ブルーノ・リグット、イヴ・アンリ各氏のマスタークラスを受講、修了演奏会に出演。

2008年、二度目のリサイタルを名古屋・東京にて開催。

2009年、愛知県立芸術大学博士後期課程に一期生として入学、2013年度を最後に退学。

ソロ、連弾、室内楽など様々なコンサートに出演し、アンバランスのコンサートにて研鑽を積んでいる。

これまでに、故・浅野真紀代、マイヤー兼松るり子、磯村奈々、森本恵美子、永野美佐子、ヴァディム・サハロフ、松本総一郎の各氏に師事。



アンバランス ピアノ 検索



ザコンサートホール 〒460-0008

名古屋・伏見・電気文化会館 名古屋市中区栄二丁目2番5号
東山線・鶴舞線「伏見」駅 4番出口より東へ徒歩2分 ※駐車場あり

高校生以下限定！

プログラムノートを読んで、クイズに答えよう！
正解者の中から5名様に架け箸さんのオリーブ雑貨を
プレゼント♪



Jean-Philippe RAMEAU
Extraits du Pièces de Clavecin



Mieczysław WEINBERG
Piano Sonata No. 4 Op. 56



Fryderyk CHOPIN
Etudes Op. 25